

学 外 研 修 報 告 書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報 告 日	2020年5月15日	所 属	経済学部経営学科
職 名	准教授	氏 名	陰山孔貴 印
研修種別	①. 海外 2. 国内	研修種類	①. 長期 2. 短期
研修期間	2019年3月30日～2020年3月30日		
学外における主な研修機関および訪問先 (主な研修機関) Barowsky School of Business, Dominican University of California (主な訪問先) Haas School of Business, University of California Berkeley			
出張目的または研究題目 「価値づくり」研究の深化とイノベーションを中心にした新研究領域の開拓			
資 格 ①. 平成30年度獨協大学学外研修員 (派遣) 2. 本学承認の学外研修員 (自費等) 3 その他 ()			
大学から支給された費用 (要清算書類)・補助金額			300万円
研修内容 (1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入)			
1. 研修中は、主に2つの方向にて研究を進めた。まず、1点目が過去10年間行ってきた価値づくり研究の深化を目的に、国際経営の視点と史的分析の研究アプローチを新たに採用した研究を行った。共同研究者は、国際経営と経営史が専門分野である横浜国立大学の竹内竜介准教授と行った。具体的には、外資企業が市場拡大を目指し、アメリカから日本に持ち込んだシリアル食品を取り上げ、その日本市場への導入と日本市場に本格的に登場した1960年代からの市場発展の歴史について考察した。竹内准教授とは過去から共同研			

提出先：所属学部長→学長→人事課

裏面につづく

究を行っている間柄ということもあり、研究は順調に進み 2019 年中に『国際ビジネス研究』に投稿ができ、近日公刊予定となっている。2点目は、自身の新研究領域の開拓を行った。具体的には、経営学の研究領域において著名な研究者が多数おられる Haas School of Business, University of California Berkeley のオープン・イノベーションの研究会と組織行動の研究会に参加させて頂き、新しい研究分野における知見を得ることを行った。結果として、オープン・イノベーションと組織行動の分野において新たな知見と研究視点を獲得ことができ、現在、それをいかし University of California Berkeley にて出会った研究者との新たな共同研究をはじめている。

2. 竹内竜介・陰山孔貴(2020)「日本におけるシリアル食品市場の生成・発展に関する史的分析」『国際ビジネス研究』近刊

3. なし

以上